東京都公文書館のフェイスブックとツイッター

東京都公文書館　柏原　隆秀

1　はじめに

東京都公文書館は、館事業の普及広報のため、フェイスブックとツイッター（以下、両者あわせてSNS（Social Networking Service）と呼ぶ）での情報発信を平成26年3月から開始した。SNSへの投稿は、月曜日・水曜日・金曜日の週3回コンテンツを更新しており、開始より9か月後の平成26年11月には累計投稿回数が100回を超え、SNSを用いた普及広報活動は軌道に乗ったと言える。

そこで、本稿では、「東京都公文書館のフェイスブックとツイッター」と題し、当館の普及広報活動について紹介する。

2　SNSを始めた経緯

東京都では、SNSを活用して都政に関する情報を広く発信する取組みが、平成24年度から進められている。これを受けて、当館においても利用者との双方向型の情報交換を図るため、フェイスブックとツイッターを活用することとした。この2つを採用した理由は、以下のとおりである。

○フェイスブック

館所蔵資料等の画像を掲載することが可能である。また、付加するテキストに字数制限がないため、ある程度詳細な説明を掲載することができる。

○ツイッター

フェイスブックへのアクセスを誘引することが可能である。

3　SNS投稿方針

当館では、これまで公文書館を利用したことがない方にも親しみやすく、かつ興味を持っていただけるよう、以下のような方針で投稿している。

（1）読みやすさを心がけて

ちょっとした合間に読んでもらえるよう、適度な字数かつ平易な文章を心がけている。そして、内容については、季節感や催し物（お花見や花火、コタツなど）を感じることができるテーマや現在失われてしまったもの（被災焼失した建物や現存しなくなったお祭りなど）を取り上げるなど、発信する情報も印象に残るものを選択するようにしている。

（2）投稿するタイミングは昼食前

SNSでは、次々と新しい記事が掲載されるため、古い記事は埋もれてしまい、人目に付きづらくなる。そこで、SNSの利用が多い時間帯が①通勤時間、②昼食中、③夜中で

フェイスブックの画面

ツイッターの画面

あることから、当館では②昼食中を選択し、その直前に投稿するようにしている。

（3）画像は毎回添付

文字だけの情報よりも、人目を引く効果が期待できるため、画像を毎回添付するようにしている。

（4）資料情報は積極的に掲載

SNS投稿を読み、資料に興味を持った方が手軽に資料請求できるよう、資料請求番号を掲載している。

4　SNS投稿事務

具体的にSNS投稿がどのような役割分担で行われているかについて、紹介する。

（1）SNS投稿に係る役割分担

本稿の冒頭でも述べたとおり、当館では月曜日・水曜日・金曜日の週3回の投稿を継続している。このような高頻度の投稿を継続するため、SNS投稿事務に係る担当者を予め決めている。

当館においては、以下のように担当者を割り振っている。

○SNS投稿原稿案の作成

原則として史料編さん係[1)]（9名）

○SNS原稿案編集（修正案作成）・投稿

庶務係広報担当

（2）SNS投稿までの流れ

①原稿案執筆者の割振り

投稿年間スケジュール表を作成し、各投稿日の原稿案執筆者を割り当てる。

②原稿案執筆

各執筆者が館所蔵資料を活用した原稿案を作成する。

③原稿案編集（修正案作成）

各執筆者が書いた原稿案が多くの人に親しみやすいものとなっているかという観点から、庶務係広報担当が原稿案の確認をし、必要に応じて修正を加え、修正案を作成する。

④修正案の確認

庶務係広報担当が作成した修正案に誤りがないか等の確認を、史料編さん係・整理閲覧係職員に依頼する。

⑤内部の意思決定・投稿

最後に、個人情報や差別的表現は含まれてないか、商業的普及活動になっていないか、著作権を侵害していないかを確認し、内部の意思決定を行う（電子決裁）。意思決定後、フェイスブックとツイッターへの投稿を行う。

（3）各SNS投稿のスケジュール

以下のようなスケジュールで事務手続きを進めている。

○3日前

各原稿執筆者の原稿案作成期限

○2日前

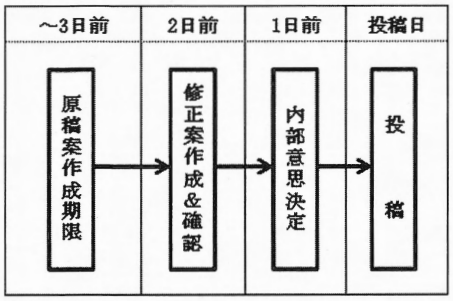
庶務係SNS更新担当による原稿案編集（修正案作成）及び修正案の確認

○1日前

内部の意思決定

○投稿日

フェイスブックとツイッターへの投稿実施



スケジュールのイメージ図

5　SNSへの反応

続いて、当館のSNSに対する反応はどのようなものか紹介する（集計は平成26年12月1日時点）。

（1）各月ごとの集計（単位：件）

	フェイスブック			ツイッター	
	閲覧数	いいね	シェア	ﾘﾂｲｰﾄ	お気に入り
3月	4,090	157	41	50	41
4月	1,042	82	0	16	10
5月	2,022	130	8	63	50
6月	2,006	175	2	186	119
7月	2,777	266	8	311	176
8月	4,410	287	21	313	133
9月	2,403	280	7	60	33
10月	2,450	162	3	50	30
11月	2,612	242	7	30	16

フェイスブックの閲覧者数は、徐々に伸びており、5月以降は、安定的に2,000件以上の閲覧者数を確保している。「いいね」の件数も10月に落ち込みは見せたが、安定して200件以上は獲得できるようになってきている。

一方、ツイッターについては、7月・8月に伸びを見せているが、9月以降はリツイート・お気に入りともに数値が落ち込んでいる。より多くのリツイートやお気に入り登録を獲得できるよう工夫が必要である。

（2）フェイスブック

新聞等マスメディアでも取り上げられた『国の重要文化財になります！』や『企画展示「子どもの見た戦争－手紙が語る学童疎開」』は、注目度が高かった。

特に、『国の重要文化財になります！』は、国の重要文化財に指定された東京府・市文書の中から福沢諭吉が1873年に東京府に提出した慶應義塾大学開学申請書類について取り上げたものであるが、慶應義塾大学がシェアした結果、閲覧数が3,000件を超える結果となった。

（3）ツイッター

ツイッターは、フェイスブックと異なり140文字以内で投稿を行わなければならないという制限があるためか、フェイスブックとは異なる記事が人気投稿となっていることは興味深い。

ツイッターでは、『江戸の七夕』、『練馬区独立記念日』、『大正13年、夏休みの宿題　その2』といった季節や催し物に関する投稿の注目度が高い。

（4）今後の方針

SNSを継続発信する流れは定着したが、閲覧数などについては他の公共機関のSNSと比して、当館には更なる努力が必要だろう。

今後は、より多くの方に当館に興味を持っていただくために、人気投稿の傾向を分析し、今後の投稿へ反映していきたい。また、『国の重要文化財になります！』のように、注目度の高い他アカウントによるシェアは、閲覧数の増加に効果的であるため、今後は積極的に他アカウントとの連携を図っていくことも検討する。

6　おわりに

一般の方にとって、公文書館とは縁が遠い存在であろう。筆者も東京都公文書館に配属される前まではそのように感じていた。

だからこそ、まずはより多くの方に公文書館というものに興味を持ってもらうことが重要である。SNSを通じて、公文書館に保存されている貴重な歴史的・文化的史料を紹介

フェイスブック人気投稿[2]　上位５位（単位：件）

順位	タ　イ　ト　ル	閲覧数	いいね	シェア	投　稿　日
1	国の重要文化財になります！	3,284	43	24	2014／３／19
2	練馬区独立記念日	1,311	34	13	2014／８／１
3	伊藤博文の「生存証書」	690	37	2	2014／11／６
4	企画展示「子どもの見た戦争 －手紙が語る学童疎開	657	21	1	2014／７／25
5	国立競技場の建設 ～オリンピック招致に向けて～	639	18	0	2014／10／５

ツイッター人気投稿[3]　上位５位（単位：件）

順位	タ　イ　ト　ル	リツイート	お気に入り	投　稿　日
1	江戸の七夕	229	110	2014／７／７
2	練馬区独立記念日	150	49	2014／８／１
3	都営トロリーバスをご存知ですか？	107	68	2014／６／３
4	徳川家旧臣の身分証明	36	39	2014／７／14
5	大正13年、夏休みの宿題　その２	41	18	2014／８／８

していくことで、より多くの方が公文書館に興味を持つ入口としたい。

そして、このような取組みにより、当館の存在が多くの都民の方々に認識され、「未来に継承すべき重要公文書等を確実に引き継ぎ、長期に保存することで、住民自治の礎となる行政の説明責任を果たす場を提供していく」という公文書館の重要な役割が十全に発揮される日が来ることを願っている。

［注］

1）SNS投稿原稿案の作成は、原則、業務として史料にアクセスする機会が多い史料編さん係職員が行う。ただし、調査研究以外の視点も活用するため、他係が作成する場合もある。

2）「閲覧数」と「いいね」、「シェア」の合計値を人気の尺度とした。

3）「リツイート」と「お気に入り」の合計値を人気の尺度とした。